

第9回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：平成31年3月8日（金）10：00～12：00

2. 場 所：徳島グランヴィリオホテル 1階ヴィリオルーム

3. 出席委員：河口 洋一（徳島大学大学院 准教授）

木下 覺（徳島県植物研究会 顧問）

小林 實（河川・溪流環境アドバイザー）

松田 春菜（四国大学 講師）

山田 量崇（徳島県立博物館 主任）

山中 亮一（徳島大学 講師）

◎湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 名誉教授）

（五十音順、◎：委員長）

4. 配付資料：

資料1 議事次第、配席図、委員会規約

資料2 長安ロダム改造事業の進捗状況[概要版]

資料3 環境モニタリング調査の基本方針及び調査方針[概要版]

資料4 長安ロダム改造事業に係る平成30年度モニタリング調査の実施状況及び
評価結果[概要版]

資料5 長安ロダム改造事業に係る平成31年度モニタリング実施計画書(案)[概要版]

資料6 今後の環境モニタリング調査計画(案)[概要版]

別添資料 補足資料

その他 参考 傍聴される方へのお願い

参考 取材についてのお願ひ

5. 議 事：

(1) 長安ロダム改造事業の進捗状況について

(2) 平成30年度のモニタリング調査結果について

(3) 平成31年度のモニタリング実施計画（案）について

(4) 今後の環境モニタリング調査計画（案）について

6. 議事概要：

第9回長安ロダム環境モニタリング委員会において、長安ロダム改造事業の進捗状況、環境モニタリングの基本方針及び実施状況、平成30年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果、平成31年度モニタリング実施計画書（案）、今後の環境モニタリング調査計画（案）について審議を行った。

(1) 平成30年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果について

【騒音・振動】

・特になし。

【水環境】

- ・栄養塩が高い値となった要因について、降雨以外の可能性も含めて総合的に検討してほしい。
- ・水質自動観測結果を使って濁度とSSの関係を確認してほしい。

【植物】

- ・長安口ダムでは非常に丁寧に対応してもらった。現状では移植が難しいものもあるが、知見を参考に続けてほしい。
- ・ナカガワノギクは工法によっては工事後に回復する場合もあるので、モニタリングを続けてほしい。

【猛禽類】

- ・猛禽類について、騒音、振動、夜間照明等による影響の可能性があったが、関係者の連携によって適切に対処し、影響はなかったと考えられる。
- ・今年度は河川水辺の国勢調査として鳥類の調査が行われているが、前回の10年前の調査結果と比較して確認種数が多く確認されていることから、工事による鳥類への影響はなかったと考えられる。

【下流河川調査結果】

- ・今年度の魚類・付着藻類・底生動物の調査結果が、これまでの傾向と異なっている。過去3年調査を実施しているので、その間の流量または水位等をかさね、何が影響しているのかを類推してほしい。
- ・底生動物についてはカワゲラ・カゲロウ・トビケラの確認状況をもとに群集構造の違いを整理してはどうか。
- ・水生昆虫と河床の関係についての分析を今後行ってはどうか。

(2) 平成31年度モニタリング実施計画書(案)について

- ・下流河川調査に関し、まだ流量と生物の関係が整理されていないので、平成31年度も継続して調査を行ったほうがよい。
- ・底層の硫化物の発生状況を確認してはどうか。

(3) 今後の環境モニタリング調査計画(案)について

- ・特になし。

以上の議事を踏まえ、平成30年度モニタリング調査結果および平成31年度モニタリング実施計画書、今後の環境モニタリング調査計画は了承された。

(以上)